

新県立博物館概略設計案【建築】（概要版）



■ 建築計画コンセプト

「三重の自然と歴史・文化」を育み、県民・利用者と「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざす

■ 県総合文化センターや美術館の文化ゾーンを意識した計画

- ・敷地西側に建物を配置し、県総合文化センターや美術館との連携や動線に配慮した計画とする。
- ・北側に開かれた外観とし、県総合文化センターや通行する人から見えることで館内へ誘うような計画とする。

■ 周囲の景観に配慮しながら、三重らしさを感じるデザイン

- ・総合文化センターと呼応するのびやかな構成とし、来館者を迎え入れるような、県立博物館に相応しい落ち着いた風格を備えた外観とする。
- ・外壁面の一部には伊勢型紙等のモチーフ化など三重らしさを象徴する外観デザインとする。
- ・陰影をつくるルーバーにより、外部に対して館の活動が感じられながら、日射熱負荷を抑制する環境配慮型のデザインとする。

■ 敷地内の自然環境の活用や環境配慮が感じられる施設

- ・敷地内の里山林を県民・利用者と再生・保全しながら、緑の環境を生かすミュージアムフィールドを計画する。
- ・館の中と自然環境をつなぐための交流の広場を野外に設け、様々な活動の展開に配慮する。
- ・屋根面に太陽光発電、ミュージアムフィールドにハイブリッド照明などを設置し、環境保全の大切さが感じられる施設とする。

■ 博物館としての資料保存環境等の確保

- ・外気の影響を受けにくい位置に収蔵庫を配置するとともに、災害時への配慮を行い、資料の保存、管理、研究に適した施設とする。

■ 県民・利用者の活動を支える交流創造エリアを中心にした配置

- ・交流創造エリアは明るく、緑の景観を楽しむ空間とし、県民・利用者の主体的な活動や活用発信の中心として計画する。
- ・フレキシビリティの高い展示空間やユニバーサルデザインに配慮し、長く県民に利用される施設とする。



【全体側鳥瞰イメージ図】

敷地利用計画

豊かな里山林を再生・保全し
敷地内外の環境を結ぶ施設配置



計画地の自然環境を残す建物配置

計画地の豊かな自然と地形を残すため、以下の事項に遵守した、施設計画とする。

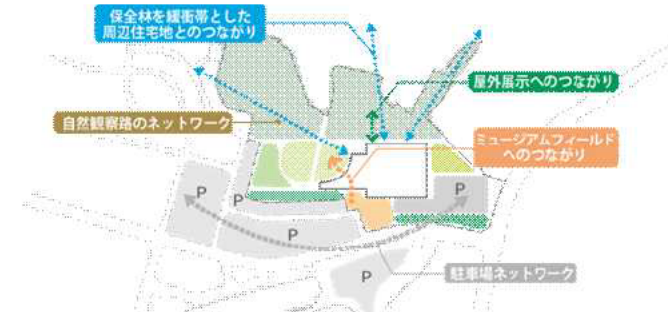
【遵守すべき計画条件】

1. 豊かな里山林の再生・保全
2. 尾根線にかからない造成
3. 赤道の機能の確保
4. 南西側造成法面にかからない施設配置
5. 送電線の下部に、展示・収蔵エリアがかからない配置



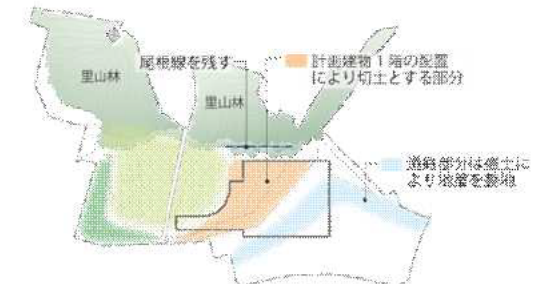
敷地内の自然環境と周辺環境をつなぐ博物館

高低差のある敷地全体を、建物によって結び、敷地の特性や自然環境をいかした施設とする。



計画地を保全し活用する造成計画

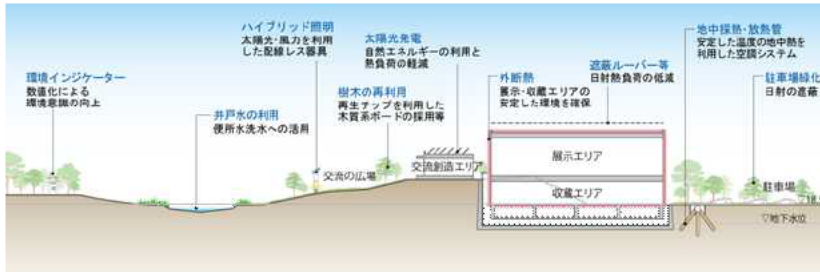
計画地の地形を意識した施設配置と造成計画とする。



■ 外構計画

■ 「敷地全体を使った環境配慮」

多様な環境技術の導入により、省エネルギーの実現をはかる。
環境インジゲータなど環境技術の視覚化により、環境への興味を促す計画とする。



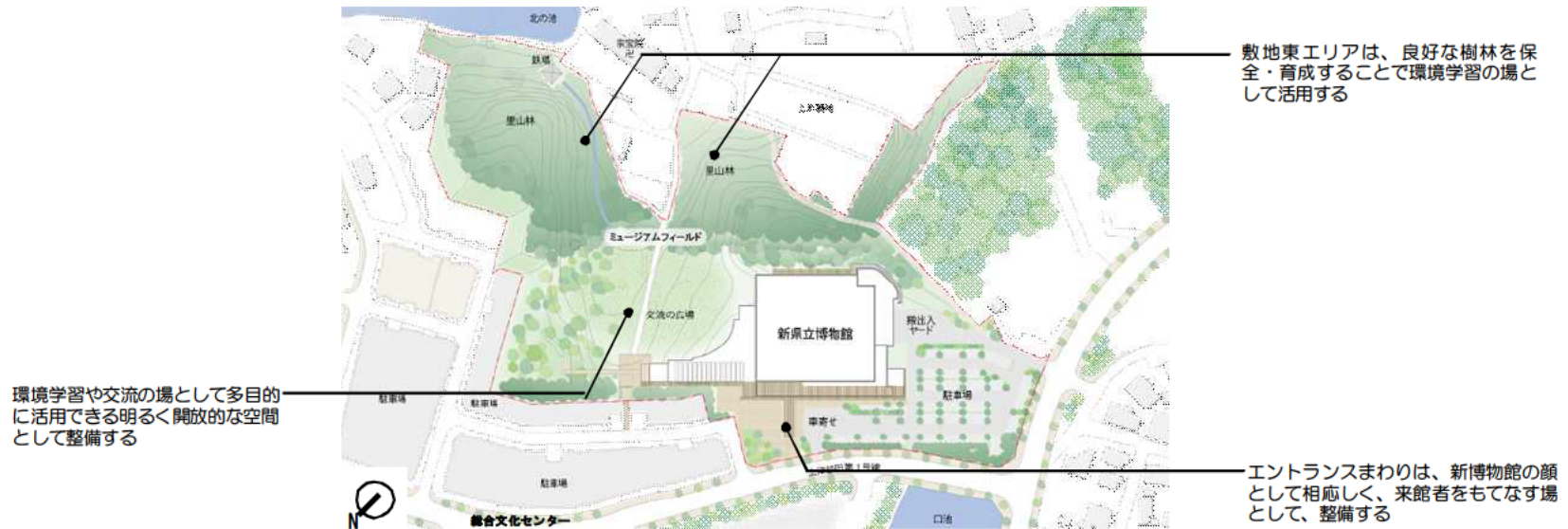
【環境技術イメージ】



【ミュージアムフィールドのイメージ】

■ 「里山林の再生を通じた環境教育の場づくり」

敷地に広がる豊かな里山環境の再生・保全をはかる。
計画地に残る、既存樹をできる限り保全し、利用者に親しまれる「ミュージアムフィールド」として活用する。



■ 全体施設構成図

■ 施設の構成と特徴

・明るく開放的な「交流創造エリア」

「学習交流スペース」を中心とした交流創造エリアは、外部に面し、明るく視認性の高い動線空間でつなくことで、多様な活動に触れやすい構成とする。レファレンスカウンターでは、三重の自然と歴史・文化に関する情報の検索や相談、博物館資料や歴史的公文書の閲覧などに対応することで、利用者の活動をサポートする。

・交流創造エリアに隣接した「展示エリア」

3階を展示エリアとし、各展示室は学習交流スペースを中心に展開することで、交流創造の活動との連携をはかる。

・外気の影響を受けにくい「収蔵エリア」

収蔵エリアは、レベル差のある地形を生かし、半地下となる1階に設ける。さらに免震層や諸室を周囲に配置することで、環境の変化の影響を受けにくい構造とする。

・県民に開かれた明るい「エントランス」

「交流の広場」に面した明るいエントランスは、飲食休憩スペース、ミュージアムショップとのつながりを重視し、だれもが気軽に立ち寄れる空間とする。

・収蔵エリアに接する「調査研究エリア」

調査研究エリアは収蔵エリアに接し、かつ、交流創造エリアへ接続することで、学芸員、来館者双方が利用しやすい構成とする。

・容易な管理が可能な「管理エリア」

管理エリアは、収蔵庫搬出入口と展示・交流創造エリア、エントランスエリアを結ぶように配置し、利用者への対応と施設や収蔵品の管理が容易な計画とする。

・メンテナンスに配慮した「機械エリア」

各機械室は、セキュリティに配慮し、適切な位置に設置する。

【凡例】

 交流創造エリア	 来客動線	 来客用出入口
 展示エリア	 搬入動線	 搬出入口
 収蔵エリア	 管理動線	 管理用出入口
 エントランスエリア		
 調査研究エリア		
 管理エリア		
 機械エリア		

